

# 中里俳人伝

## 桂仙老

上原 紅 紫

中里の中央を貫く七川。この川の名の起源は、上流廣野川に拓野谷附近で七ツの谷川に水源を流しているところからこう呼ばれている。小沢、大林の沢、ツブラの沢、四方の沢、小七川、大七川、南沢の七ツがそれである。

この七川が信濃川にそそぐはと、桂野の門前に前石を築き、名木茂る小公園の如き庭がある。この庭の主その名古治、母を桂仙と稱す。中里村十海の生れである。若き日には画才に恵まれ、東京の川端画塾に学び洋画を専攻、その後戦時中、昭和八年戦争開戦で帰郷後、郷土に在りて中里文化の発展に寄与すること大なるものがあつた。各句會、句誌等にも其の鋭い特異な感覺を感ぜられた時、同好者注目するのである。画人としての桂仙老は知る人が多いが、俳人としては句會の同人以外は余り知られていないと願ふ。ここにそのいくつかの秀句を紹介して文人桂仙を味わつて見よう。

▲春の寒に口染む唇等の油れ行

誰しも幼ない記憶に懐く一コマである。畑を踏み踏んでとやかくさん桑の表を直して下種を起したり大人は余り喜ばないが、甘酢っぱい茶の裏は子供達には大きなりよかがある。桃の香るような言葉句である。

▲秋晴の城壁のてし箱架へく  
米の城壁も國の守り、箱架の掛け廻された部格に城壁のある支那の街の如き想像を持つ農村の風景詩である。老人の別句に「秋晴や箱架の城壁崩れ去る」の秀句がある。

▲旧情は好むの現世にあまた  
掛けたる部格に城壁のある支那の街の如き想像を持つ農村の風景詩である。老人の別句に「秋晴や箱架の城壁崩れ去る」の秀句がある。

### 三才児歯科検診の結果

一四三名を診  
診の結果、異常を認めなかった人は、僅か一人で一人平均九本のムシ歯を持つて居ると言つて居る。一番ムシ歯にかかっている場所は大顎の裏歯、これは口唇清掃が完全に行われていないからだと考へられます。

それではどうしたらムシ歯を防ぐ事が出来るでしょうか。

A、口唇清掃をする  
B、程度の悪いムシ歯種不潔な口に発生して居ます。三才児ではまだブラシを正しく使つて

### 槌の音

なでやまなごとはいわぬが、少なうとも如何にして利用して行くか、これは今から十分考へておかねばならないことではなからうか。いや、もうガメツさの米価が決定される前になつてから要求大会、何かセツツと米の心づきは動かないことではなからうか。米の心づきは動かないことではなからうか。米の心づきは動かないことではなからうか。米の心づきは動かないことではなからうか。



5 円 所 館  
1 部 行 民  
中 里 村 公 館  
現在人口 世帯数 1.687

## 参議院選挙終る 投票率前回を上廻る

投票率は次の通り。

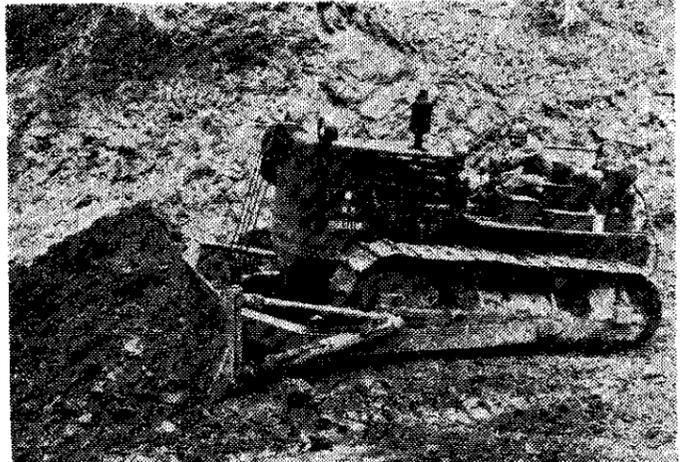
区	男	女	計
選挙当日の有権者数	二、五五四	二、八六三	五、四一七
投票者数	二、〇八九	二、二〇四	四、三〇三
投票率	八二・七九	七六・九八	七九・二五
全国投票者数	二、〇八八	二、二〇三	四、二九一
全国投票率	八一・七五	七六・九五	七九・二二

去る七月一日執行された参議院選挙は、梅雨の時期ではあつたが、わい々天候に恵まれてか、投票率も出足はよく、投票率は前回六九・四九パーセントを大に上廻り七九・二五パーセントを示した。男女別には女性が多るもの、前回対比では女性の伸びが目立っている。

投票は即日、午後八時より投票場で行われ、地方区は午前時各々時、全国区は午前五時各々時、投票が閉じた。今回の選挙には無効投票が約十二パーセントあり、地方区、全国区の投票用紙のとりかぎが目立ち、せっかくの投票が無駄になったものが多かったことは、選挙人に自覚と注意を喚起したいものである。

以下中里村の投票の状況、得票の有効投票総数三、七五五

候補者別	得票数	得票率
小柳 牧庵	一、九六〇	五二・四
吉田 兼治	四八三	一二・六
山崎 齊	一、三三三	三八・〇
江藤 智	一、三三三	三八・〇
松村 秀逸	一、二二七	三三・七
横川 正市	二一七	五・三



灌漑地内で大活躍のブルドーザー

### 十二峠開墾工事 自衛隊のブルドーザー大活躍

〔既報〕待望の十二峠開墾工事に、灌漑地内からいよいよ本格ふいて居る。

### 田沢中屋体改築工事 七月一日着工

〔既報〕田沢中学校屋体内運動場改築工事は、去る六月二十八日中里村公民館会議室に於いて五業者による競争入札が行われ、その結果、屋内運動場本屋（鉄骨造り、十五×二十五間）工事費三万四千四百円、長岡市三商士

### 有望な葉タバコ栽培

順調な生育状況  
換金作物として有利で安定しているタバコの栽培が、今年度からはじめられ、いままでは栽培経験は少ないのであるが、新生産地であるので土壌中にウイルス等の他のタバコ病原菌が少なく、いまのところモザイク病、立枯病等の発生はほとんどみられず、生育状況はすばらしい。収量も大体平均が見込まれている。

最近では婦人層の喫煙家などが増えているので、年々八パーセントの消費の伸びが見られて、これらの情勢から中里村としてもタバコ栽培に力を入れ、三十八年度には二十五ヘクタール、四十年には五十ヘクタールに栽培面積を増大し、中里村の農産物販売高の中、タバコの販売高を養蚕に次ぐものにしていきたいと計画している。そのため、次のような意を注いで

### あつたかき

ブルのない山のキャブ連ては川泳ぎがなによりのもので、毎年夏休みになると、Aの方々の水泳監視、炎天下の苦勞だがブルがでるまでは地域ぐるみでもを公福から守ります。

◎「槌の音」といふコロシを設けました。ツチのオトを響かすにコシツケたわけですが、家づくり、村づくり、人間づくりをなすに建設的な意見主張などを寄せて下さい。

